

2018年度シラバス リハビリテーション学科作業療法学専攻 正誤表

2018年9月14日現在

新											
学習成果	1	2	3	4	5						
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力						
●	●			●							
科目名	解剖学 I				単位認定者	佐々木 美智子				試験(筆記)	60%
対象学科 必修・選択 配当年次	OT	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2	単位	評価の方法	授業内課題 (口頭試験)	20%
					後期		授業時間数			50	時間
授業の概要					授業形態	講義			授業回数	25	回
到達目標	解剖学は、人体の構造と機能を理解する学問であり医学の基礎となっている。身体内部の臓器は、骨格と密接な位置関係で配置されており、身体を切り開くことなく、体表から臓器の位置を知ることができる。本講義では、運動器系の基本となる骨と筋について学修する。解剖学 I では、人体の構造を理解するために、骨の名称、筋の名称、筋の起始・停止、筋の作用や支配神経について学修する。										
学修者への期待等	講義以外にグループ学習をしておくこと。										
回	授業計画				準備学習				担当		
1	解剖学概論 骨学総論と筋系総論				解剖学とはなにか、考えてみよう (概ね30分程度)				佐々木 美智子		
2	骨学 1: 上肢骨①				鎖骨・肩甲骨・上腕骨の名称を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
3	骨学 2: 上肢骨②と連結				尺骨・橈骨・手の骨 (手根骨・中手骨・指骨) の名称を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
4	骨学 3: 下肢骨①				大腿骨・脛骨・腓骨の名称を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
5	骨学 4: 下肢骨②と連結				足部 (足根骨・中足骨・跗骨) の名称を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
6	骨学 5: 脊柱・骨盤の骨①				椎骨 (頸椎・胸椎・腰椎) の名称を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
7	骨学 6: 脊柱・骨盤の骨②と連結				寛骨 (坐骨・長骨・恥骨) の名称を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
8	骨学 7: 胸部・頭蓋骨の骨				胸骨と肋骨および頭蓋骨の名称について確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
9	骨学のまとめ				骨学の総復習をしておくこと (概ね1時間程度)				佐々木 美智子		
10	筋学 1: 頭部・顔面筋・頸部筋 (頭神経系)				頭部・顔面筋・頸部筋の神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
11	筋学 2: 肩甲帯周囲筋 (腕神経系)				肩甲帯周囲筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
12	筋学 3: 上腕の筋				上腕の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (肩関節周囲の屈筋・伸筋・外転筋・内転筋) (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
13	筋学 4: 前腕の筋①				前腕の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
14	筋学 5: 前腕の筋②				前腕の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
15	筋学 6: 手部の筋 (末梢神経系)				手部の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
回	授業計画				準備学習				担当		
16	筋学 7: 骨盤帯の筋 (腰神経叢・仙骨神経叢)				骨盤帯の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
17	筋学 8: 大腿部の筋				大腿部の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
18	筋学 9: 下腿部の筋				下腿部の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
19	筋学 10: 足部の筋				足部の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
20	筋学 11: 体幹の筋 (背部・腰部)				体幹の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
21	筋学 12: 体幹の筋 (胸部・腹部)				体幹の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
22	筋学のまとめ (末梢神経系のまとめ)				筋学の総復習をしておくこと (概ね1時間程度)				佐々木 美智子		
23	解剖学実習に向けてのオリエンテーション				配付資料をよく読んでおくこと。				佐藤 匡		
24	東北大学解剖学実習見学①				配付資料をよく読んでおくこと。				佐藤 匡 島崎 健一郎		
25	東北大学解剖学実習見学②				配付資料をよく読んでおくこと。				佐藤 匡 島崎 健一郎		
教科書	「グレイ解剖学 原著第3版」塩田浩平訳、エルゼビア・ジャパン株式会社										
参考文献	「新・徒手筋力検査法 原著第9版」Helen J. Hislop, Dale Avers, Marybeth Brown著、津山直一・中村耕三訳、協同医学出版社 「図解 四肢と脊椎の診かた」S. Hoppenfeld著、野島元雄監訳、医歯薬出版株式会社 人体の構造と機能 エレインN. マリープ書 第4版 医学書院										
備考	スケッチブック、色鉛筆を準備する。授業内課題はレポート (スケッチブック) の提出になる。スケッチブックに骨と筋のスケッチと部位の名称等の記載が必要である。スケッチブックは、骨学、筋学講義終了後に提出し、確認後スケッチブックを返却する。										

旧											
学習成果	1	2	3	4	5						
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力						
●	●			●							
科目名	解剖学 I				単位認定者	佐々木 美智子				試験(筆記)	60%
対象学科 必修・選択 配当年次	OT	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2	単位	評価の方法	授業内課題 (口頭試験)	20%
					後期		授業時間数			50	時間
授業の概要					授業形態	講義			授業回数	25	回
到達目標	解剖学は、人体の構造と機能を理解する学問であり医学の基礎となっている。身体内部の臓器は、骨格と密接な位置関係で配置されており、身体を切り開くことなく、体表から臓器の位置を知ることができる。本講義では、運動器系の基本となる骨と筋について学修する。解剖学 I では、人体の構造を理解するために、骨の名称、筋の名称、筋の起始・停止、筋の作用や支配神経について学修する。										
学修者への期待等	講義以外にグループ学習をしておくこと。										
回	授業計画				準備学習				担当		
1	解剖学概論 骨学総論と筋系総論				解剖学とはなにか、考えてみよう (概ね30分程度)				佐々木 美智子		
2	骨学 1: 上肢骨①				鎖骨・肩甲骨・上腕骨の名称を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
3	骨学 2: 上肢骨②と連結				尺骨・橈骨・手の骨 (手根骨・中手骨・指骨) の名称を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
4	骨学 3: 下肢骨①				大腿骨・脛骨・腓骨の名称を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
5	骨学 4: 下肢骨②と連結				足部 (足根骨・中足骨・跗骨) の名称を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
6	骨学 5: 脊柱・骨盤の骨①				椎骨 (頸椎・胸椎・腰椎) の名称を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
7	骨学 6: 脊柱・骨盤の骨②と連結				寛骨 (坐骨・長骨・恥骨) の名称を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
8	骨学 7: 胸部・頭蓋骨の骨				胸骨と肋骨および頭蓋骨の名称について確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
9	骨学のまとめ				骨学の総復習をしておくこと (概ね1時間程度)				佐々木 美智子		
10	筋学 1: 頭部・顔面筋・頸部筋 (頭神経系)				頭部・顔面筋・頸部筋の神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
11	筋学 2: 肩甲帯周囲筋 (腕神経系)				肩甲帯周囲筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
12	筋学 3: 上腕の筋				上腕の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (肩関節周囲の屈筋・伸筋・外転筋・内転筋) (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
13	筋学 4: 前腕の筋①				前腕の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
14	筋学 5: 前腕の筋②				前腕の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
15	筋学 6: 手部の筋 (末梢神経系)				手部の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
回	授業計画				準備学習				担当		
16	筋学 7: 骨盤帯の筋 (腰神経叢・仙骨神経叢)				骨盤帯の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
17	筋学 8: 大腿部の筋				大腿部の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
18	筋学 9: 下腿部の筋				下腿部の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
19	筋学 10: 足部の筋				足部の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
20	筋学 11: 体幹の筋 (背部・腰部)				体幹の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
21	筋学 12: 体幹の筋 (胸部・腹部)				体幹の筋の起始・停止・作用、神経支配と髄節を確認しておくこと (予習・復習 概ね各1時間程度)				佐々木 美智子		
22	筋学のまとめ (末梢神経系のまとめ)				筋学の総復習をしておくこと (概ね1時間程度)				佐々木 美智子		
23	解剖学実習に向けてのオリエンテーション				配付資料をよく読んでおくこと。				佐藤 匡		
24	東北大学解剖学実習見学①				配付資料をよく読んでおくこと。				東北大学		
25	東北大学解剖学実習見学②				配付資料をよく読んでおくこと。				東北大学		
教科書	「グレイ解剖学 原著第3版」塩田浩平訳、エルゼビア・ジャパン株式会社										
参考文献	「新・徒手筋力検査法 原著第9版」Helen J. Hislop, Dale Avers, Marybeth Brown著、津山直一・中村耕三訳、協同医学出版社 「図解 四肢と脊椎の診かた」S. Hoppenfeld著、野島元雄監訳、医歯薬出版株式会社 人体の構造と機能 エレインN. マリープ書 第4版 医学書院										
備考	スケッチブック、色鉛筆を準備する。授業内課題はレポート (スケッチブック) の提出になる。スケッチブックに骨と筋のスケッチと部位の名称等の記載が必要である。スケッチブックは、骨学、筋学講義終了後に提出し、確認後スケッチブックを返却する。										

学習成果	1	2	3	4	5					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力					
	●		●	●						
科目名	大学生生活論					単位認定者	吉川 法生 須藤 あゆみ		授業内課題 (ノート課題)	95 %
対象学科 必修・選択 配当年次	OT	必修	1年	開講時期	通年	評価の方法	単位	1	単位	
							授業時間数	30	時間	
							授業回数	15	回	
授業の概要	大学生生活を有意義に送るために必要となる姿勢、知識やスキルを身につける。具体的には、本学・各学科の教育方針の理解、大学での学び方（レポートの書き方、図書館の活用法等）、大学生生活の基礎知識（ネット社会の危険、消費者トラブル、交通ルールとマナー等）、健康に関わる知識（睡眠・食生活、ドラッグの危険性、大学生が出会うところの問題等）を身につける。									
到達目標	1. 大学生・社会人としての基本的マナーを身につける。 2. 大学生生活を有意義に送るための知識やスキルを身につける。 3. 大学での学びを基盤に、学習の自己管理ができる。									
学修者への期待等	大学生生活を有意義に送るために設定した科目である。自己の目標を叶えるために、積極的に学ぶことを期待する。さらに多くの仲間をつくり、いろいろな考えに触れてほしい。									
回	授業計画					準備学習		担当		
1	学内オリエンテーション（本学の教育方針）					科目専用ノートを準備すること		吉川 法生		
2	大学生生活に関わる基礎知識1（学校生活のルール）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		学生総合支援センター		
3	大学生生活に関わる基礎知識2（新生活での注意点 生活トラブル 交通ルール）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		学生総合支援センター		
4	大学生生活に関わる基礎知識3（ネットの危険 情報モラル）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		吉川 法生 齋藤 祐樹 森永 雄		
5	大学生生活に関わる基礎知識4（消費者トラブルについて）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		学生総合支援センター		
6	大学生生活での学び①（カリキュラムと大学での学びの方法）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		三浦 雅史		
7	大学生生活での学び②（授業の受け方 記録）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		齋藤 祐樹		
8	大学生生活での学び③（自己学習 予習復習 特にIT機器の使い方）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		吉川 法生		
9	大学生生活での学び④（図書館の利用 文献検索の仕方）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		学生総合支援センター		
10	健康に関する知識1（睡眠 食生活 ドラッグの危険性）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		学生総合支援センター 飯室 勉		
11	健康に関する知識2（大学生が出会う心の問題）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		学生総合支援センター		
12	先輩から学ぶ大学生生活					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		須藤 あゆみ		
13	大学生生活と地域社会1（郷土史を学ぶ）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		須藤 あゆみ 内田 貴和		
14	大学生生活と地域社会2（社会体験）					報告書をノートにまとめること（復習30分程度）		須藤 あゆみ		
15	1年間のまとめと自身の課題の明確化					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		須藤 あゆみ		
教科書	特になし									
参考文献	特になし									
備考	1～6、10、13回はPTOT合同授業。 課題のフィードバックは講義内で適宜行います。Seiyoドリルにより自主学習を行います。									

学習成果	1	2	3	4	5					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力					
	●		●	●						
科目名	大学生生活論					単位認定者	吉川 法生 須藤 あゆみ		授業内課題 (ノート課題)	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	OT	必修	1年	開講時期	通年	評価の方法	単位	1	単位	
							授業時間数	30	時間	
							授業回数	15	回	
授業の概要	大学生生活を有意義に送るために必要となる姿勢、知識やスキルを身につける。具体的には、本学・各学科の教育方針の理解、大学での学び方（レポートの書き方、図書館の活用法等）、大学生生活の基礎知識（ネット社会の危険、消費者トラブル、交通ルールとマナー等）、健康に関わる知識（睡眠・食生活、ドラッグの危険性、大学生が出会うところの問題等）を身につける。									
到達目標	1. 大学生・社会人としての基本的マナーを身につける。 2. 大学生生活を有意義に送るための知識やスキルを身につける。 3. 大学での学びを基盤に、学習の自己管理ができる。									
学修者への期待等	大学生生活を有意義に送るために設定した科目である。自己の目標を叶えるために、積極的に学ぶことを期待する。さらに多くの仲間をつくり、いろいろな考えに触れてほしい。									
回	授業計画					準備学習		担当		
1	学内オリエンテーション（本学の教育方針）					科目専用ノートを準備すること		吉川 法生		
2	大学生生活に関わる基礎知識1（学校生活のルール）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		学生総合支援センター		
3	大学生生活に関わる基礎知識2（新生活での注意点 生活トラブル 交通ルール）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		学生総合支援センター		
4	大学生生活に関わる基礎知識3（ネットの危険 情報モラル）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		吉川 法生		
5	大学生生活に関わる基礎知識4（消費者トラブルについて）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		学生総合支援センター		
6	大学生生活での学び①（カリキュラムと大学での学びの方法）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		吉川 法生		
7	大学生生活での学び②（授業の受け方 記録）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		吉川 法生		
8	大学生生活での学び③（自己学習 予習復習 特にIT機器の使い方）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		吉川 法生		
9	大学生生活での学び④（図書館の利用 文献検索の仕方）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		学生総合支援センター		
10	健康に関する知識1（睡眠 食生活 ドラッグの危険性）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		学生総合支援センター		
11	健康に関する知識2（大学生が出会う心の問題）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		学生総合支援センター		
12	先輩から学ぶ大学生生活					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		須藤 あゆみ		
13	大学生生活と地域社会1（郷土史を学ぶ）					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		須藤 あゆみ 内田 貴和		
14	大学生生活と地域社会2（社会体験）					報告書をノートにまとめること（復習30分程度）		須藤 あゆみ		
15	1年間のまとめと自身の課題の明確化					授業内容をノートにまとめること（復習30分程度）		須藤 あゆみ		
教科書	特になし									
参考文献	特になし									
備考	課題のフィードバックは講義内で適宜行います。									